



コアロハマイ Ko Aloha Mai



“コアロハマイ”は、ハワイのウクレレメーカー“コアロハ”がお届けするニュースレターです。

第1巻11号

2007年11月

コミュニティ



ミツエさんを始めとするオアフ観光局の皆さん、コミュニティイベントに協力してくれて、どうもありがとうございます! オアフ観光局で、コアロハが毎年行っているパリ・プリスクールツアーのビデオを作ってくれました。とってもうれしい! コアロハのスタッフ全員、子供達のためにいつもベストを尽くしています。アロハは家庭から始まりますよ、皆さん! Live Aloha! (アロハに生きよう!) アロハは皆の心の中に生きています。



今月は、コアロハがサンシャイン・キッズの子供たちに再会します。サンシャイン・キッズは、癌と戦う子供たちを支援する非営利団体で、昨年コアロハでは、ハワイに来た子供たち33人全員にウクレレをプレゼントしました。また、ウクレレのレッスンも行い、素敵な時間を過ごしました。残念ながら、もうこの世を去った子供もいますが、彼らの思い出は僕達の心の中で生き続けています。

エコモマイ

コアロハのウクレレ取扱店に、マウイ島のクラ・ゴールドが仲間入りしました~! クラ・ゴールドでは、ウクレレの他に、手作りの金製品を販売しています。



ワイキキトリリーでは引き続き、ウォーキングツアーでカリヒをサポートしています。デビンとリカが、このエリアを皆様にご紹介しています。

コアロハの店にも新スタッフが登場です。イエ〜イ! 彼女の名前は、セツコ・ヤマザキ。よろしく〜♪ セツコはお店での販売を手伝ってくれます。



最後に、元ジャンバジュースにお勤めのドミニク・パスター。彼は、パーツのスペシャリストとして、コアロハに仲間入りしました。



もくじ:

コミュニティ	1
エ・コモ・マイ	1
コングラチュレーションズ	2
見た?見た?	2
アーティスト情報	3
お知らせ	3
ソープボックス	4

マハロ



カリヒ・パラマ地区委員会のバーニー・ヤング、市の交通課のケリー・クルズ以下スタッフの皆様へ感謝! コアロハ前のトロリー停車場が、仮の停車場から正式な停車場に昇格できそうです。ワイキキトロリーのレッドラインとヒストリック・ウォーキングツアーをこれからますます盛り上げていきたいと思っておりますので、応援よろしくお祈りしますね!

ウォーキングツアーを支えているメネフネ・マック、プリンセス・カイウラニ・ファッション、オリビア・コレクション、いつもありがとう! もっとカリヒが目玉スポットになるように、一緒に頑張りましょう!

コングラチュレーションズ!



演奏家、作曲家、芸術家...いろいろな肩書きを持つブリットニー・パイヴァ嬢が、何とご婚約!

ブリットとブランデンの婚約の様子は、www.myspace.com/smileybrittleで見ることができます。要は、来年の3月に、この世から独身者の数が2人減ることです♥



コアロハスタッフのブライアン・ベナヴェンテが、シヨールームのマネージャー兼ツアーコーディネーターに就

任しました。でも、お店の方もこれまで通りアシストしてくれますので、ご安心下さい。

見た? 見た?



セリトス・ウクレレフェスティバルで聴衆を圧倒したヴィクトリア・ヴォックス

がハワイのボーダーズにやってきました。もちろん彼女の曲「マイ・ダーリン、ボー」に登場する最愛の夫・ボーも一緒です。ホームベース(コアロハ)でも、新曲を何曲か披露してくれました☀



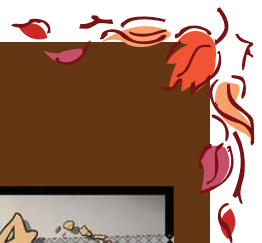
写真提供: ミッドウイーク誌

以前コアロハのアーティスト兼ボディセクションのスペシャリストだった、独身のいとこトッド・サイキ(左端)が、ミッドウイーク誌に登場。彼は、毎年コアロハのクリスマスカードをデザインしてくれています。今年はどんなデザインかなあ。



写真提供: ミッドウイーク誌

アロハタワーは、メディア関係の人々がよく集まる場所です。マリア・サバンと友達がミッドウイーク誌に載っていました。



アーティスト情報



ハーブ・オオタ・ジュニアのニューCDリリースパーティーが、アラモアナホテルのパケレラウンジで行われました。他にナ・ホク賞を受賞したパリも、パフォーマンスを披露してくれました。ジュニアの音楽的才能を見せつけてくれたこの作品、ムーン・カ

ウカヒ、レドワード、ネーサン・アウイウ、ノエル・オキモト、チノ・モンテロ、バリー・フラナガン、ジョン・ヤマサト、ダニエル・ホーなど、そうそうたるミュージシャン達が参加しています。ふう。すごいメンツだね。

マノアDNAが、またやってくれました! 父ちゃん(Dad)、ニック、アレックスの3人組が、ニューCD “No



Place Like Home” をリリース。ところで、この親子3人の頭文字をとるとDNA(遺伝子)になる。ナイス、ネーミング! 11/2(金)、ゴードン・ピアージュにてCDリリースパーティーが行われます。前回のリリースパーティーも大盛況だったから、今回もさぞや盛り上がることでしょう。そうそう独身女性の皆さん、残念だけど父ちゃんとアレックスは、もう結婚しています。独り者はニックだけなので、あしからず。

お知らせ

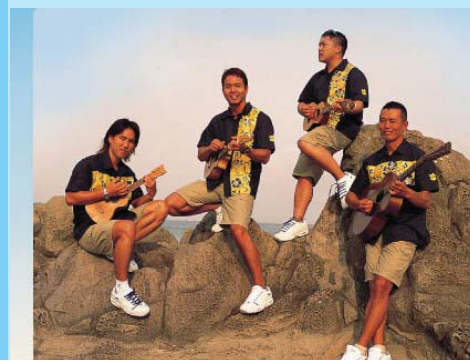


しばらくウクレレ走者として頑張っていたトニー・ギャンブルが、再びギター業界に戻って来ました。現在彼は、セッションやスタジオ専門のミュージシャンとして忙しい日々を送っています。



ウォルト・キアレ&カヴィカ・カ(ナ・ホクを受賞したカウカヒの片われ)は、ハワイカイのコナ・ブリューイング・カンパニーで定期的にパフォーマンスしています。イイ感じです。

ウォルトGとケワロのメンバーによるニューCDの制作が最終段階に入っています。彼らのパフォーマンスを見たことがないなら、ドン・ホーズのスケジュールをチェックしてみてください。ただし、混んでる時が多いので、立ちっぱなしでも疲れない靴を履いてくることをオススメします。人気なんだ、これが...



ヴァンスKとカワイハエも頑張ってるよ! 完売した昨年秋のツアーに引き続き、今年もツアーを行います。これもすでに完売だって。すごい!

KOALOHA

KoAloha Ukulele
744 Kohou Street
Honolulu, HI 96817

TEL: 808.847.4911
米国内フリーダイヤル: 808.840.4911
Eメール: info@koaloha.com

コアロハマイ編集スタッフ
編集 & 執筆: アラン・オカミ
アートディレクター: キンバリー・ユエン

コアロハウクレレは、ハワイのウクレレブランドの中でも優れたウクレレを作り出すことで知られています。1995年に、アルヴィン“パパコアロハ”オカミによって創設されたコアロハは、そのデザイン、音色、品質の高さに定評があります。完璧なウクレレを作り出したいというパパコアロハ以下スタッフ全員の理想に向かい、日々精進を続けている結果でしょう。コアロハのウクレレは、細部にこだわりを込めて一つ一つ手作りしています。

コアロハのプレミアム・ウクレレライン: コアラナ、ソプラノ、コンサート、テナー、D-VI 6 スtringス。さらにシグネチャーシリーズは、パパコアロハのマスターピース・コレクションから全7種類のモデルが発売される予定です。

コアロハは、ハーブ・オオタ・ジュニア、ダニエル・ホーをスポンサーしています。

コアロハについてのお問い合わせは、アラン・オカミ (808.847.4911) まで。

イベント

ハワイ芸術同盟が資金集めに行っているイベント「Celebrate the ARTS! 2007」が、大成功に終わりました。パフォーミングアートで知られる親組織のジョン・F・ケネディー・センターからは、3つの代表団が参加。ハラウ・フラ・オラナ、マツト・キャティンガブ、コアロハの友達ジェフ・ピーターソンといった面々が、イベントに華を添えてくれました。



12/15(土)に、ゴードン・マークとコアロハのホリデーコンサートが、ハワイ・パブリックラジオにて行われます。その晩

のチケットはもう完売しそうなので、翌日12/16の晩に追加コンサートするかも知れません。もしかしたら2曲ぐらい僕の曲をやるかも...。トニー(僕の歌の師匠)、喜んでくれるかな。1曲はハワイアンだから、50%の確率で僕の歌が聴けるかもしれません。

アロハ オエ

今年の夏、2人の若者がインターンとしてコアロハで働いてくれました。ブランドン・オハラ、愛称“B-rad”は、ドライバーズ・エドと交代するまで、パーツのスペシャリストとして頑張ってくれました。



あと、コアロハフレンドのケント・ツカモトが、息子のライオンを貸し出してくれました。ライオンは、ウクレレ、ヴィオラ、ギターなど、マルチにこなす演奏家。ブリットニーの最新CD「Brittini」ではヴィオラで参加しているので、名前を知っている人もいるかも知れません。

アロハタワーマーケットプレイスで働くヤンが去ることになりました。来年のアロハウイク・フェスティバルのウクレレコンテストで、もう彼に会えないかと思うと寂しいです。いままでありがとう。

ソープボックス: エイジレスラブ



「Celebrate the ARTS! 2007」イベントで、サトル・アベ氏が亡くなった奥さんのことを話していました。彼の話を聞いている内に、僕も彼と一緒に、彼が「天使のような彼女」に出会った1949年のある日に戻ったような気がした。今でも心から彼女を思っている氏。話しを続けながら、彼がその運命の日に戻っていることや、それだけ長く続く愛情のことを考えて、感動してしまった...。秘訣があるわけじゃない。愛があるだけ。いいお話をありがとうございました。